



SURESHOT

WILD SHOVEL CHOPPER

文=佐賀山敏行 text by TOSHIYUKI SAGAYAMA 写真=渡辺まこと photographs by MAKOTO WATANABE
取材協力=シェアショット phone 043-445-0077 <http://www.sureshot.jp/>

長年、オーナーとともに走り続け、もはや自身の分身とも言えるほどに年月を重ね続けた愛車。それは時にはどんなに美しいショーモデルよりも輝きを発する……。

ここに紹介するチョッパーも、12年前に新品パーツで組み上げられたものを現在のオーナーが手に入れたものであり、以来、全国を走り回りながら、新たなパーツを取り付けたり、交換したり……。そうしてこのチョッパーは徐々にその姿を変えていき、現在のスタイルになったという。

そして見た目だけでなく、スプリンガーフォークにライドコントロールを取り付け高速安定性能をアップさせたり、他にもキャブレターにワンオフで製作したフロントボウルエクステンションを装備するなど、走りの面においてもこの一台は様々な工夫がなされているという。

こうして12年もの歳月を走り続けたチョッパーは、圧倒的なオーラとも言うべき存在感を発する。それは見てくれただけのカスタムでは決して発することなどできない……。



1 バックマッタン製エッグタンクは分割加工を施して塗装。2 エンジンには高圧にアブドリュース製のハイカムを装着。3 このタンクのオーナーはシェアショットのシート革加工やシムルバー加工を担担する(STUDIO WORKING)のオーナー。専らにシートは自ら製作したもので、他にもシムルバーや直線で作った小物が盛り込まれている。



シルエットはオープンドッグスだが、細部にはオーナーのこだわりが満載である。